

【研究課題】

解剖前CTによる循環器系突然死の画像評価基準の検討

研究期間：2015年6月1日～2020年3月31日

心膜血種の剖検例の死後CT所見を検討した。Hyperdense armored heat(HAH)所見は全体の86%に認められた。心臓マッサージ実施群(CPR)と、未実施群(NCPR)の比較を行ったところ、CPR群にのみ心外膜表面高吸収域の不整な途絶(44%)、心膜腔における腹側の低吸収域と背側の高吸収域で構成される液面形成(22%)が認められた。内因性心膜血種におけるHAHは診断に有用である一方、心臓マッサージは死後CT所見に影響を与えうるため、所見の解釈には注意が必要である。